

佐賀県佐賀市 持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくり

佐賀市は注目を集めています。

○なぜ注目を集めているのか

- ・サーキュラーエコノミーの先進地である
- ・脱炭素の取組の実践例が見れる街である

○注目を集めた結果

- ・様々な国内外の企業、公共団体、NPO法人などから 視察、講演、ディスカッションの依頼が多数寄せられている

企業に求めるもの等

- ・企業版ふるさと納税を活用したご支援
- ・サーキュラーエコノミーを広げるための協力



企業のメリット

- ・社会貢献企業としてのPR
- ・ESG投資家や金融機関へのアピールポイント
- ・経済と環境が無理なく調和した社会の実現
- ・自社で行えない脱炭素についても、佐賀市で行える可能性あり
- ・先進地であるため佐賀市には情報が満載

佐賀県佐賀市 持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくり

二酸化炭素の分離回収

- ・ 清掃工場の焼却ガスから「二酸化炭素」(CO₂)だけを分離回収し、農家や地域産業などに活用

発端はごみ処理施設の統廃合

- ・ 2回にわたる市町村合併
- ・ コストの削減を行うため、現在の佐賀市清掃工場にごみを集約する
- ・ NIMBY (**N**ot **I**n **M**y **B**ack**Y**ard)

迷惑施設から『歓迎施設』へ

- ・ 生活上「ごみ」と「汚水」は発生し、処理が必要
- ・ 処理施設は「迷惑施設」として嫌がられる
- ・ 廃棄物からエネルギーや資源を生み出し、地域に還元することで、喜ばれる施設になる



ごみ処理施設 下水処理施設

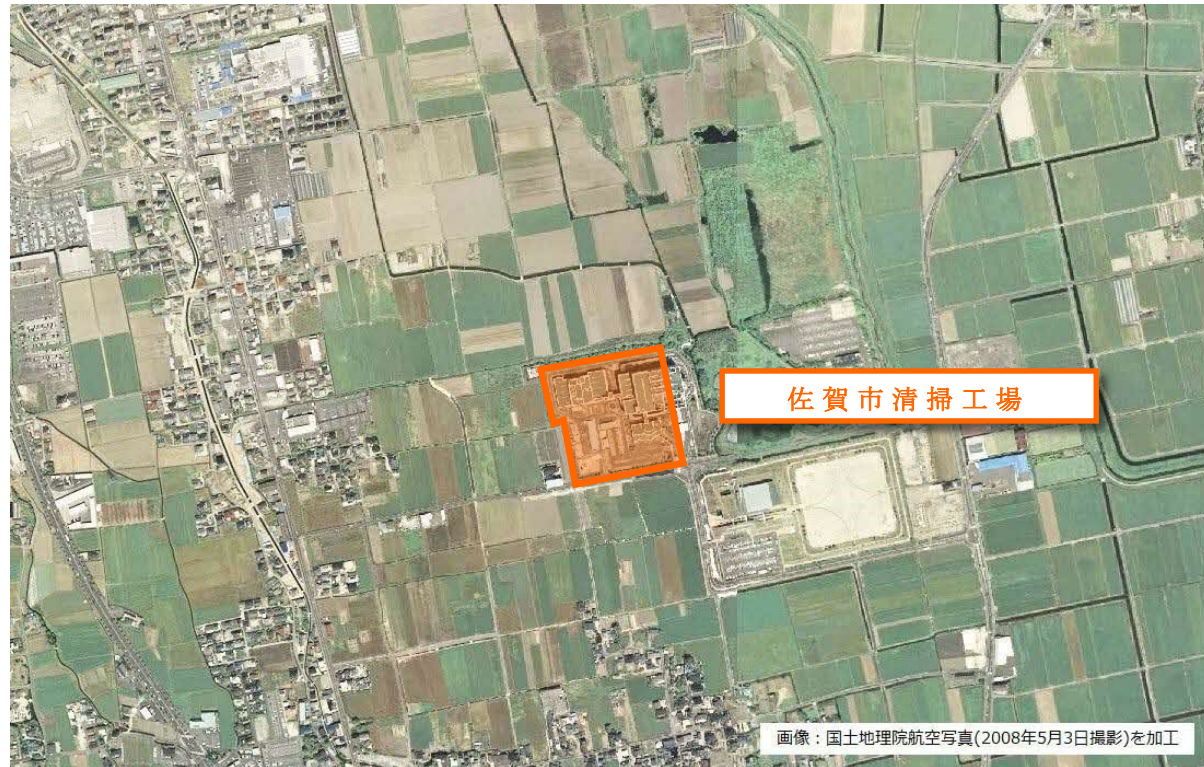
資源やエネルギーを創出
価値を生む施設へ!!



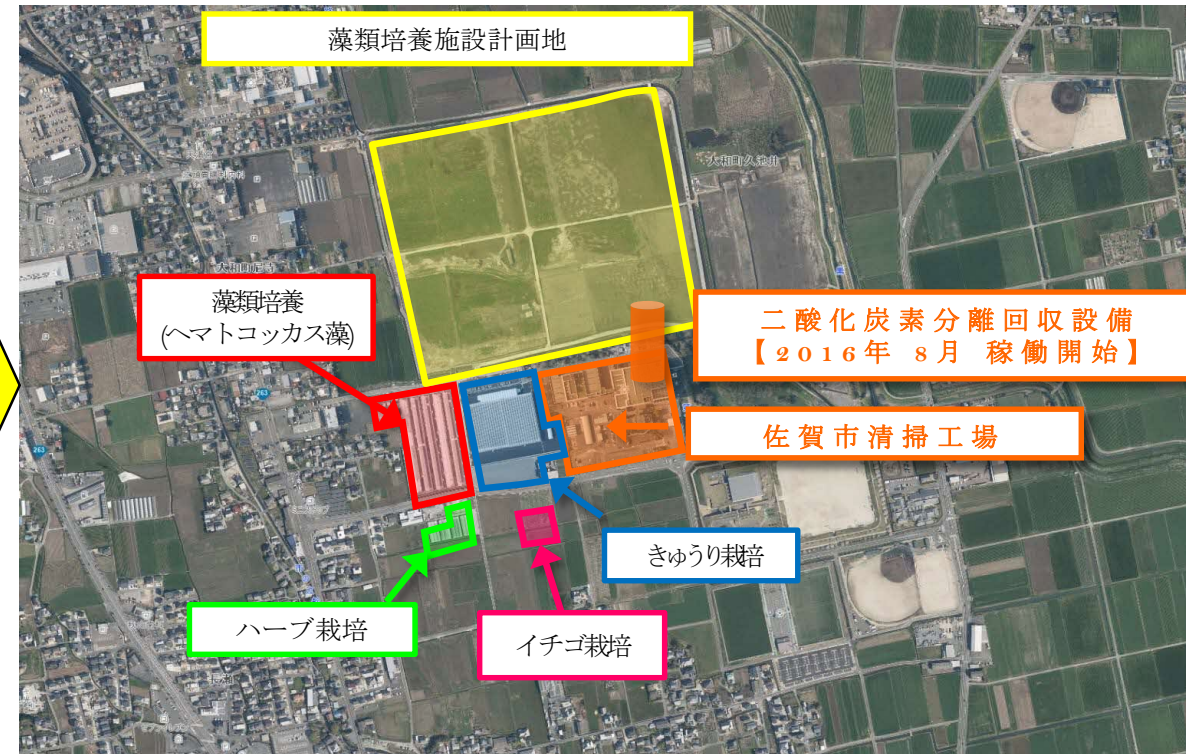
佐賀県佐賀市 持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくり

周辺には関連企業が進出中！

佐賀市清掃工場周辺見取図（2008年頃）



佐賀市清掃工場周辺見取図（2021年頃）



農業王国といわれる佐賀県は農地が多い状況にあり、
清掃工場周辺も田んぼに囲まれている

【2020年 公益財団法人九州経済調査協会調査】
事業実施による経済波及効果 54億1,300万円

佐賀県佐賀市 持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくり

今後の新たな活用展開



①人工炭酸泉

- ・スポーツ施設、高齢者施設への導入による健康増進
- ・施設園芸作業者の熱中症対策
⇒医療費の抑制に寄与

送ガス

③ドライアイス

- ・海外輸入に頼らない国内供給体制の強化



CO₂液化設備の新規設置



送ガス

②液化CO₂

- ・大規模多収技術により「稼げる農業」を佐賀市全体へ波及



④超臨界CO₂

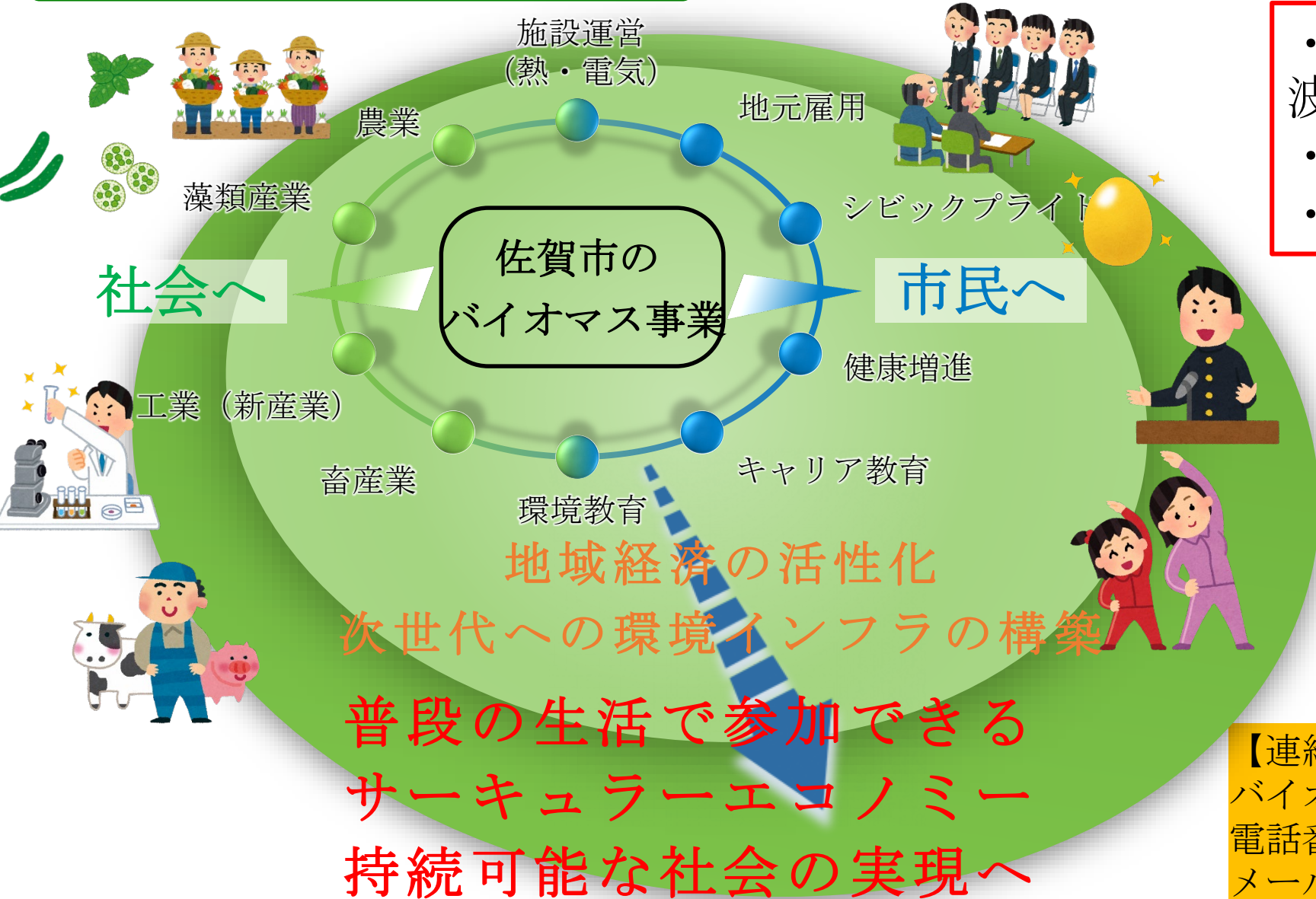
(液体、気体の両方の特徴を持つ流体)

- ・カフェインレスコーヒーなどの国産化
- ・水を使わない染色、玄米の洗浄、和装品のクリーニングなど地域産業の環境性を向上



佐賀県佐賀市 持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくり

バイオマス事業の推進の先に



- ・サーキュラーエコノミーの波及
- ・自治体の垣根を超えた連携
- ・脱炭素社会の構築

世界も注目する事業への
応援をお願いします!!



佐賀市役所企業版ふるさと納税のHP

【連絡先】佐賀市 企画調整部
バイオマス産業推進課
電話番号：0952-40-7192
メールアドレス：biomass@city.saga.lg.jp